

令和8年度 江戸川区立小松川第二小学校 学校経営方針

<p>【目指す児童像】いつもニコニコ 小松の子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なんだろう、もっと知りたい、調べたい」という探究欲 ・「他の人と意見を交流したい」という交流欲 ・「やってみたい できるようになりたい」という挑戦欲 	 <p>創立 昭和27年 開校記念日 10.12</p>	<p>【目指す教師像】児童とともに生きる 小松教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心が安定し、健康な生活を送る教師 ・常に学び続け、変わり続けることのできる柔軟な教師 ・不易と流行のバランスを意識できる教師 ・支え合い律し合える職場づくりに貢献する教師 ・社会と学校、過去、現在、未来のつながりを意識できる教師 ・持続可能な働き方を意識し、業務改善に取り組める教師
--	---	--



【目指す学校像】みんなの笑顔があふれる学校

- 子どもたちが、夢をもち、心はずませて通いたいと思う学校
- 保護者が、安心して、希望や期待を抱き、我が子を通わせたいと思う学校
- 地域が、にこまつの子がいとしく一緒に育てたい、教育活動を応援したい学校
- 教職員が、誇りに思い、働きがいを感じられる学校



【教育目標】からだも 心も健康な子ども

よく考え工夫する子（知）

思いやりのある子（徳）

力を合わせやりとげる子（体）

<p>今年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の探究欲を高める、1単位時間の授業の質の向上 ○児童が主体的に家庭学習に向かう習慣付けの徹底 ○「読書科」の取組の充実による、児童の探究学習の質向上、読書の質及び量の向上 ○校外の人材を活用することで、より専門的な指導を実施。児童の理解や探究欲を向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい月間や L-Gate の活用によるいじめの未然防止・早期発見。いじめの適切な対応によるいじめ解消率の向上 ○教員の特別支援教育力や生活指導力向上による安全・安心な教育環境の整備 ○異学年交流にこにこ班の機会の増設及び児童の交流欲向上 ○キャリア教育の充実による児童の自己理解能力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の体力向上、運動への意欲を向上する1単位時間の体育科授業の質の向上 ○児童の挑戦欲を高める学校行事や体育的取組の質の向上 ○毎日登校することのよさ、健康な生活を送るための方法等の理解促進により、児童欠席率の低下 ○健康教育や食育を通して、児童の健康保持増進への意識向上、保護者の協力により未治療児童減少
---	---	---

<p>取組評価のための指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○●授業で「もっと知りたい、調べたい」と答える児童 90%以上 ●「日々、児童が探究欲を高める授業を行っている」と答える教員 100% ○「家庭学習に主体的に取り組むようになった」と答える第2学年以上の保護者 90%以上 ○「すすんで学習に取り組む」、「自分から本を読んでいる」と答える児童 90%以上 ○●校外の人材活用、各学年、年間3回以上実施 ●「校外の先生に学んで、いつもより学習がよく分かった」と答える児童 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校が楽しい」と答える児童 95%以上「第1回、第2回いじめ解消率」90%以上 ○「自分が所属する学級・学年は、居心地がよく安心である」と答える児童 90%以上「教室以外に居場所がある」と答える児童 90%以上 ○「ちがう学年に友達がいる」と答える児童 95%以上「いろいろな人と関わりたい」と答える児童 90%以上 ○「自分には夢や希望がある」と答える児童 90%以上、「自分にはよいところがある」と答える児童 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力調査の数値昨年度より向上した種目、4種目以上 ○「週5日、毎日30分間以上運動する」と答える児童 90%以上「体を動かすことが楽しい」と答える児童 95%以上 ○児童の健康に関する自己評価が肯定的な回答 90%以上、欠席児童が全体で10%減（学期末に調査）新規不登校児童ゼロ ○●給食残菜1日平均2%以下 ●「学校は健康教育によく取り組んでいる」と答える保護者 80%以上「学校は食育によく取り組んでいる」と答える保護者 80%以上
---	---	---

心のあ（あかるい・あきらめない・ありがとう）

行いのあ（あいさつ・あつまり・あとしまつ）

→「自分は心のあを意識して生活している。」「自分は行いのあのよい行動ができています。」それぞれ肯定的な児童 90%以上

地域（卒業生）の願いや思い

「にこまつの子であることを誇りに思っていてほしい」→「にこまつの子でよかったと思う。」肯定的な児童 100%
 「地域行事に積極的に参加してほしい」→地域行事に参加したことがある児童 100%

保護者の願いや思い

「自分の思いや考えを表現してほしい」「人との関わりを広げ深めてほしい」「自己肯定感を高めてほしい」
 →「お子さんは本校の教育活動をとおして、よりよく成長している」と答える保護者 90%以上